

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
医療統計学	4年次	必修	演習	1単位（30時間）	宮西 邦夫
授 業 概 要					
<p>医療統計学、疫学、臨床疫学等の専門用語は、医療分野の学生、研究教育職、臨床現場にいる各専門家にとり、ともすれば難解な印象が強い傾向があります。この講義は、第Ⅰ部 疾患と介入に対する疫学的アプローチ、第Ⅱ 病因解明のための疫学的アプローチ、第Ⅲ部 評価と政策に対する疫学の応用について紹介する。肥満、ぜんそく、甲状腺がん、ピロリ菌と消化性潰瘍、マンモグラフィに関する研究結果などを示しながら、<math>\kappa</math>係数、生存分析、感度、特異度、予測力ケースクロスオーバーデザイン、バイアス、人年法、子どものコホート研究法など医療に携わる専門家を目指す学生に必要な知識について解説する。</p>					
到 達 目 標					
<p>疫学、医療統計学の意義、感染拡大、罹患（病）、死亡、診断検査とスクリーニング検査の妥当性と信頼性、疾病の自然経過、予防法・治療法の有用性、コホート研究について理解できる。さらに、ケースコントロール研究、リスク・予防効果の推定、因果関係の推論、バイアス・交絡・交互作用、病因における遺伝要因と環境要因の役割に関する知識を得る。保健医療サービスの評価に対する疫学の応用、スクリーニングプログラムの評価に対する疫学的アプローチなど、医療に携わる専門家にとり、必要不可欠で基本的な専門用語について、図表に示された事例、研究成果を理解、応用できる知識の修得を目標とする。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	医療における疫学、医療統計、統計学の意義と役割				宮西 邦夫
2	感染拡大のダイナミクス				
3	疾患の頻度を測定する（罹患等）				
4	疾患の頻度を測定する（死亡等）				
5	診断検査とスクリーニング検査の妥当性と信頼性の評価				
6	疾患の自然経過（予後の表現方法）				
7	ランダム化比較試験（RCT）				
8	コホート研究				
9	ケースコントロール研究とその他の研究デザイン				
10	リスクの推定（関連の存在等）				
11	予防効果の推定				
12	コホート研究とケースコントロール研究の比較				
13	疫学研究における関連に基づく因果関係の推論				
14	バイアス、交絡、交互作用				
15	病因における遺伝・環境要因の役割				
学 習 方 法					
<p>教科書から抜粋された医療統計に関する重要項目に関する基本的な用語ならびに理解、応用するための考え方について学びながら、図表の読み方（統計処理の手法、結果等）について、さらに深く学修する。また、補足資料として、配布される参考書に紹介されている「栄養疫学」の図表について、管理栄養士として修得すべき研究調査方法および結果の意義、応用について具体的に学修する。</p>					
評 価 方 法					
<p>〔評価方法〕 定期試験および学習意欲・態度により評価する</p>					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>教科書：疫学 医学的研究と実践のサイエンス（訳 木原正博、木原雅子、加治正行） メデイカル・サイエンス・インターナショナル発刊 配布資料：上記教科書から本文、図表（Power point）および補足として栄養疫学（坪野吉孝著）から抜粋</p>					